

## 令和7年度第4回鎌倉市環境審議会会議録

- 1 開催日時 令和8年(2026年)3月23日(月)午前10時から正午まで
- 2 開催場所 鎌倉商工会議所301会議室(委員は現地またはオンライン参加)
- 3 出席者 現地参加:植木委員、前田委員  
オンライン参加:亀山会長、川口委員、吉田委員、小田委員、奈須委員
- 4 事務局 山本環境部次長兼環境政策課担当課長、竹之内環境政策課担当課長、浦山係長、石川職員、大堀職員
- 5 議題 (1) 鎌倉市環境基本計画等の改定・見直しについて  
ア 将来像(案)  
イ 施策方針と取組  
ウ 行動指針(案)及び重点プロジェクト
- 6 報告事項 (1) その他
- 7 事前送付資料等

資料1-1 第2回ワークショップ結果

資料1-2 追加ヒアリング結果

資料1-3 将来像(案)

資料2 行政取組編骨子(案)

資料3 行動指針(案)及び重点プロジェクト

資料4 第15期鎌倉市環境審議会委員名簿

### 8 会議内容

会議の進め方について事務局から説明を行い、会議及び会議録について公開すること、議題1の受託事業者である(株)創建担当者のオブザーバー参加についての説明、傍聴者2名入室、配付資料の確認後に議事に入りました。

亀山会長 議題(1)について説明をお願いします。

浦山係長 「将来像(案)」(資料1-1から資料1-3)について説明

亀山会長 ただ今の説明についてご質問、ご意見があればお願いします。

川口委員 ワークショップで市民がLiqlid(リクリッド)を使って情報をやり取りした上でアイデアを出したのは良かったと思います。企業や団体ヒアリングにはとても大事なことが含まれており、実際に市内で活動しているからこそ分かる知見や、コーディネーターや活動者が足りないという実感が含まれています。

資料1-3のビジョンマップのイメージはまだ検討中だとは思いますが、10番の漁業支援施設のサイズ感や、記載されているイラストのいくつかには違和感があります。このビジョンマップはどのように作られ、今後どう活用していく予定ですか。

**浦山係長** ビジョンマップについては、これまでの意見聴取等で頂いた意見をイラスト化したものです。現時点では仮のものであり、イラストの位置等は今後調整していく予定です。

**川口委員** イラストについては、市民にも見ていただきながら未来を描けるものになれば良いと思います。

**吉田委員** ビジョンマップは未来を示す図ですが、一見して未来感が少ない印象があります。イラストのタッチが普通のイラストに見えるので、タッチやトーンについて変更を検討してはいかがでしょうか。

**浦山係長** 未来を示すものではありませんが、これまで聴取してきた意見としては、今ある環境を残すことを強く願われているところでもあります。表現についてはご意見を踏まえ検討してまいります。

**竹之内課長** 未来感については検討の上で、現在のイラストとなった経緯があります。委員の皆様が考える未来感とはどのようなことを想定されていますでしょうか。

**吉田委員** 何を描くかではなくトーンや印象が重要で、現代的なイラストの方が適しているのではないかと思います。

**小田委員** イメージ図は良いと思いますが、小学生でもわかるような言葉を使用する方が良いと考えます。

活動の中でLiqlidの話と、事業者の活動を結びつけるようなものはありますか。行政に対し、コーディネートを求めるような意見がある中、全てを自治体に求めることは無理があるところですが、事業者としてLiqlidを使って結びつけるような取組があれば良いと考えました。

イラストについては、鎌倉幕府のような昔のものや、観光資源が混ざると楽しくなるのではないと思いました。

**竹之内課長** 現時点でLiqlidを使用して事業者の課題解決を図ることは検討していませんが、Liqlid上で何かをするのは良い考えだと思いました。事業者が集まる場を作ることが重要だと考えているところですが、特定の日時に事業者が集まってしまうことが困難な側面もあることから、オンラインでの取組も検討していければと思います。

**植木委員** まず、イラストの動物については正確に描写していただければと思います。次に漁業については描かれていますが、海の生態系に関する描写がありません。漁業については大切なのでそれも合わせて入れていただければと思います。文化についてのイラストがありますが、多国籍の交流がメインに見えるので、文化の保護を前面に出したイラストもあれば良いと思いました。11番と12番や、14番と15番は違いが分かりづらく、2、6、19、20番はイラストが何を指しているか分かりづらいので工夫した方が良いかもしれません。

ビジョン案については皆さんが環境に取り組んでいることが意見として出ていたところでは

が、環境団体では自然を守るという大きな方針が同じでも、細かい部分で方向が異なることがよくあります。市として自然を守るための細かい方針を打ち出した方が上手くいくかもしれません。

**吉田委員** 3つのビジョンのうち、人のつながりが含まれている1番の「共生の環をつなぐまちかまくら」が良いのではないのでしょうか。共生という言葉は固いので、「つなぐ」とすると分かりやすくなりそうです。資料1-1の市民ワークショップの中では、「愛あるコミュニケーションプロジェクト」が、方法ではなく、自分事としてとらえている点が良かったと思いました。書き方はもっとやさしく、「みどりをつなぐ 人をつなぐ みらいへつなぐ鎌倉」などではいかかでしょうか。

**奈須委員** 未来ビジョンの説明に「環境保全活動を継承して」とありますが、保全活動を支えてきた世代が定年を迎えたり共働きになったりと、社会構造が変わってきています。今後もこの変化は継続しうるので、計画のどこかには記載した方が良いのではないのでしょうか。

**竹之内課長** 未来ビジョンは記載できる箇所が少ないため、計画の本編若しくはビジョンの説明に入れることを検討いたします。

**前田委員** イラストで、海岸でビーチクリーン活動をしています。未来を描くのであれば海岸にゴミが無い前提とした方が良いのではないのでしょうか。材木座海岸は犬の散歩をしている人が多いので、そのイメージがあっても良いと思います。

**川口委員** 未来ビジョンについては、吉田委員のご意見のように市民が参画する点をより多く記載した方が良いと思いました。若い世代の参画機会を増やすことが大切だと思っており、そのようなことを入れていただきたいです。

イラストは実際に案を出すと、意見がまとまらなくなることが多くて難しいものです。鎌倉には守り続けていくべきものと、変わっていくべきものがあるため、そこを分けて印象を強くすると良いと思います。将来を守るにあたり、適切なイメージを市民や事業者に伝えることが重要だと思いました。

**奈須委員** 未来ビジョンはこの3つから選ぶのが難しく、3つをうまく合わせる事が出来ると良いと思いました。

**植木委員** 未来ビジョンはこの3択であれば、歴史の要素を入れたいので案3の「歴史の息吹と豊かな緑が未来につながる、循環型共生都市かまくら」が良いですが、分かりやすい言葉が良いというのはその通りだと思いましたので、案3だと難しいかもしれません。吉田委員のアイデアに「歴史」の単語を入れてはいかかでしょうか。

**亀山会長** 未来ビジョンは今のところ、これが良いというものが出ていません。現在、提案がありました意見は「小学生でもわかるような平易な言葉を使うこと」、「市民が参画している

ことが分かると良い」、「歴史という言葉が入っていると良い」という意見がありました。私からの意見として、案1と2は環境の要素が無いのが気になりました。案1や2であれば、「緑」や「環境」という言葉を入れた方が良いと思います。「豊かな環境をつくるまち鎌倉」など良いのではないのでしょうか。吉田委員の案も良かったです。今日の意見を踏まえて次回の審議会に提出することは計画策定のスケジュールとして、間に合いますか。

**竹之内課長** 未来ビジョンについては間に合います。イラストについては時間の都合上、抜本的に変えるのは難しいと考えております。

次回審議会は5月頃、その次は7月頃であり、7月のパブリックコメントの前にはイラストの修正案をお見せできると思いますが、詳細は事務局で検討いたします。

**亀山会長** 意見は反映できる部分とできない部分があるので、できない部分につきましては委員にご了承いただきたいと思います。

**石川職員** 議題（1）イ 施策方針と取組（資料2 行政取組編骨子（案））について説明

**亀山会長** こちらの資料2については、次回の審議会で作成が進んだものを改めて確認することとします。

**浦山係長** 議題（1）ウ 行動指針（案）及び重点プロジェクト（資料3 行動指針（案）及び重点プロジェクト）について説明

**小田委員** 資料1-1で6個の基本目標から重点プロジェクトを並べていただいた結果、違いが分かりづらかったのですが、資料3の5ページ目のように2個に絞られると分かりやすくなりました。どちらのプロジェクトもデジタルを使ってネットワークを築くことに繋がると良いと考えます。

**亀山会長** 物理的に集まることが難しい人達に対し、情報化社会が進むことで繋がりやすくなることについては、記載した方が良いかもしれません。

**川口委員** 重点プロジェクトは両方とも良いアイデアで、地元ならではの気づきがある点も良いと思いました。一方で、企業と市民の両者が繋がる場が現状だとあまり無いと感じました。これらが繋がると新しいプロジェクトなどが生まれると感じており、そのことを入れてみてはいかがでしょうか。アイデアを持つ市民と企業が繋がるプラットフォームを作ったら良いのではないかと思います。可能でしょうか。

**山本次長** 市民、団体及び企業にヒアリングをしてきて、環境について別の団体と繋がり、鎌倉の環境について取組を進めていきたいという意見は一定数存在することが分かりました。この繋がりを作るプラットフォームについては、次年度以降に作っていきたいと考えています。

**川口委員** 重点プロジェクトで出る意見の中には実現不可のものもあるとは思いますが、光るものも出てくると思います。是非そういうものがこの2つのプロジェクトから出てくることを期待します。

**吉田委員** 2つ目の「『みんなを巻き込む・かまくら脱炭素アクション』プロジェクト」は、狙いどころが優れていると思いました。地域の価値向上になる、という点については強調するとより良くなると思います。

**植木委員** 1つ目の「『環境プラットフォームづくり』プロジェクト」は観光客も参加しやすく良いと思います。2つ目の方は観光客をどうするのか疑問に思いました。J-クレジットのような形で、脱炭素の取組にも観光客が参加できると良いと思いました。

**山本次長** 観光客、滞在者についても対象に含めて考えてはいるところですが、ただし、具体的な取組の内容については今後作っていくプラットフォームの中での検討で作られていくものであるため、現時点で具体的な取組については記載するのが難しいと考えています。観光客を項目として入れることについては検討していきたいと思っています。

**奈須委員** 事業者の行動指針で「建物の省エネ診断を受診している」の項目が他の項目と比べて対策の初期段階の行動となっていて、乖離があるように感じます。

**山本次長** 確かにこの項目だけ他とはトーンが違うところではありますが、実際に省エネ診断を受診している企業が少ないため、今後3～5年程度で取り組んで欲しい取組として具体的に記載したところですが。

**亀山会長** 重点プロジェクト1つ目については、良いことですが漠然としているように感じたため、具体的に書けると良いと思いました。一番大変なのは開催して人を集める人の手腕による部分が大きいのと考えられますが、具体的に定めないと主催する人のスキル次第になってしまう恐れがあります。

2つ目のプロジェクトは具体的になっていますが、良いことをやっているならばその成果を市外に発信することも大切だと思うので、鎌倉から発信という部分も入れてはいかかでしょうか。

行動指針については、未来でやることと現時点でやることの2種類があるので、書き方が難しいところですが。

**川口委員** 鎌倉らしい脱炭素というのがキーワードとしてよく出てきますが、具体的に浮かびづらいとは思いますが。市域の政策のような大きな幹を考えるものと、市民がすぐにアイデアを実現できる葉のようなものを分けないとうまくいかないのでは、幹になる部分を明確にした方がよいのではないのでしょうか。

**竹之内課長** 環境基本計画の本編に掲載するものは、5年から10年間に掛けて記載が変わらな

いものを考えています。現時点で計画へ詳細に記載すると今後の制約に繋がってしまう恐れもあるので、毎年更新する行政取組編を合わせて示せればと考えています。環境基本計画本編でも広い範囲を取り扱っているため、どれが幹になる重要な部分か示すのは難しいところですが、脱炭素については総合計画でも防災と並ぶ重要な施策とされているところです。記載の内容については今後も検討してまいります。

**植木委員** 行動指針の事業者という区切りでは、業種による違いも大きいのではないのでしょうか。何かを販売する上では、作る方と使う方が存在しますが、使う方の記載が弱いと感じたので地産地消やリサイクル品の使用などを入れた方が良いと思いました。

**竹之内課長** すべての取組が各業種にあてはまるわけではないのですが、大多数に合う書き方を目指しているところです。環境基本計画本編を踏まえてバランスを取りながら、イラストやコラムなどを使いつつ、分かりやすく示していきたいと思います。

**吉田委員** 行動指針の中で、滞在者の項目は鎌倉らしさを出しやすくなる部分ではないかと思いました。取り組むとポイントを貰えるパスポートみたいな制度があると楽しく行動に繋がって良いのではと考えました。

**小田委員** 事業者の行動指針については経営者と従業員の視点がありますが、経営者の視点としてまとめると事業者として取り組むべき指針として分かりやすくなるのではないのでしょうか。

**亀山会長** 次の議題、その他に移ります。事務局から説明をお願いいたします。

**浦山係長** 本日の審議会の議事録の確認のご協力のお願いと今後のスケジュールについて説明

**亀山会長** それではこれで審議회를終了とします。